

登録コード	E5101901	開講年度	2026				
授業科目	英語基礎 B				担当教員	金子 史彦	
英文授業名	Basic of English B				副担当	田中 江扶・山本 大貴	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生	2～4年生
講義室	教育M301講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・小学校における外国語活動・外国語科の指導を多角的にを学ぶことにより、教員としての公共的使命感や倫理観を身に付ける。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・日本語および外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができるようになる。 ・対話を通じて他者と協力し、目標実現のために方向性を示すことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な知識（英語学、第二言語習得論、児童文学、異文化理解）の獲得に資する講義・演習を行う。さらに、受講者の実践的な英語運用力を向上させることを目指し、各回のトピックに関連する様々な英語コミュニケーション活動を実施する。						
(5)授業計画	第1回：【講義・演習】小学校外国語活動・外国語科指導のために必要な知識（内容論の概説）／【英語学習】英語で自己紹介し合い、相手について知ったことを書く活動 <山本> 第2回：【講義・演習】コミュニケーション能力（第1章・第10章）／【英語学習】英語でコミュニケーションできるようになるためにはどんな能力が必要か英語で話し合い、書いてまとめる活動 <山本> 第3回：【講義・演習】第二言語習得理論（第2章）／【英語学習】英語力向上に効果的だと思う学習方法とその理由を英語で話し合い、書いてまとめる活動 <山本> 第4回：【講義・演習】英語の文字と書き方（第4章・第6章）／【英語学習】教員による「読みやすい文字を書くためのコツ」に関する英語の講義を聞き、学んだことを英語で伝え合い、書いてまとめる活動 <山本> 第5回：【講義・演習】英語絵本を活用した英語教育（語感・身体性）／【英語学習】英語の絵本を読む活動 <金子> 第6回：【講義・演習】英語児童文学を活用した英語教育（訳の役割）／【英語学習】英語の絵本を読む活動 <金子> 第7回：【講義・演習】小学校外国語で用いられる絵本の分析（第13章・第14章）／【英語学習】英語の絵本を読む活動 <山本> 第8回：【講義・演習】絵本読み聞かせの実践（第13章・第14章）／【英語学習】絵本を読む活動、教員による英語の絵本の読み聞かせを聞く活動 <山本> 第9回：【講義・演習】英語の歌・マザーグース（コラム）<山本> 第10回：【講義・演習】異文化理解（第15章）<山本> 第11回：【講義・演習/遠隔等】音声学の基本（イントネーション、アクセント）（第3章）<田中> 第12回：【講義・演習/遠隔等】英語と多言語間の影響（音とつづり字の関係）（第5章）<田中> 第13回：【講義・演習/遠隔等】英語学の基本（日英語の比較）（第7章）<田中> 第14回：【講義・演習】英語学の基本（言語学）（第8章・第9章）<田中> 最後の15分間で授業アンケートを実施する 第15回：定期試験 *教育実習による欠席分については補講を行う。						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・英語学、第二言語習得論、児童文学、異文化理解についての理解度を評価するための期末試験 80% ・各回の課題（英作文、絵本の読み聞かせ動画など） 20% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	・期末試験 - 授業で扱った内容をよく理解しているレベルの解答であれば「卓越している」。小さなミスがあれば「かなり上にある」。並であれば「やや上にある」。やや理解が不足している点が散見される場合は「その水準にある」。 ・各回の課題 - 正確な英語を流暢に話したり書いたりしており、さらに聞き手・読み手を意識した工夫ができていれば「卓越している」、正確な英語を流暢に話したり書いたりしていれば「かなり上にある」。わかりやすい英語を話したり書いたりしていれば「やや上にある」。概ね理解可能な英語を話したり書いたりしていれば「その水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	・テキストの予習が必須な回は、毎回の授業内容の欄に、テキストで予習しておくべき箇所を指定する。 ・この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。						
(9)履修上の注意	・本講義は、講義だけでなく演習も行う。						

(10)質問，相談への対応及び連絡先	金子：kanekof@shinshu-u.ac.jp 田中：kout@shinshu-u.ac.jp 山本：yamamoto_hiroki@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	酒井英樹・滝沢雄一・亘理陽一著『小学校で英語を教えるためのミニマム・エッセンシャルズ』三省堂 1,900円+税 その他，適宜プリントを配布
【参考文献】	指定しない